

歌壇

寺尾 登志子 選

特選

首傾げ立ち止まりては待つ小犬歩みの遅き女主を

千石 菊地 正矩

赤き実はず残らず消えて鳥達の宴のあとの囀り高し

千駄木 上杉 紀世子

きやああとふ声の大きく回る夜の遊園地またきららかに

本駒込 岡本 千晶

入選

白夜航くデッキにはしゃぐ古写真共に旅せし彼女の訃報

小石川 中野 千鶴子

関節の痛みに正座の叶はねばゆるり愉しむ立礼の点前

本駒込 唐木 よし子

羽衣を広げたような空の青サムライブルーの宙を讃えて

水道 菅井 茂子

薄墨のはがきに見える名の方は消息ひきし落葉舞いくる

本郷 高木 洋祐

大振りの柘榴の朱色目立ちて通る人皆見上げる好日

小日向 内野 仙也

恒例の家族行事の餅つきは元気な笑顔詰まる美味しき

白山 長濱 直

寒椿佛壇に供へ父母に告ぐ九十二才の年迎へしと

大塚 小出 風沙子

令和4年度 第4回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

俳壇

佐怒賀 正美 選

特選

短日の幾度も挟む葉かな

向丘 丸岡 正児

ビル解体深きパイルを抜き師走

本郷 町田 菊男

厳寒や虫の暖とる堆肥箱

千石 菊地 正矩

入選

冬桜息柔らかに夕ごころ

小石川 福富 貞子

同郷の妻の雑煮を五十年

大塚 奥山 興悦

時雨月雨宿りして愛でにけり

小日向 内野 仙也

水音や桂黄葉の香のケーキ

本駒込 岡本 千晶

水鳥や古利根にある県境

千駄木 仲 綾子

過去現在忘れし母に年明くる

音羽 黒坂 進

旧漢字旧仮名遣ひ賀状来る

千駄木 江川 盾雄